

信州 ESD コンソーシアム
令和4年度 成果発表 & 交流会 実践記録

1 学校名 対象 山ノ内町立西小学校 2学年 28名

2 探求課題

(1) 活動名 「小さな命と大きな命とわたしたち とともに・・・」

(2) 目標

- ・自分たちは、自分の周りのさまざまなものと共に生活していることを知る。
- ・人、動物、植物、それぞれ命あるものとして生きていることを知る。
- ・知っているようで知らないことに目を向けていこう。

(3) ESDの視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 多様性（多種多様な現象が起きていること） | <input checked="" type="checkbox"/> 公平性（一人ひとりを大切に） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性（関わりあっている） | <input checked="" type="checkbox"/> 連携生（互いに連携・協力すること） |
| <input type="checkbox"/> 有限性（限りがある） | <input type="checkbox"/> 責任制（責任持つて） |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

②育成する資質・能力

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連するSDGs



(5) 探求課題 活動実践の概要

①私たちの住む町をよく見てみよう

- ・小さな虫や生き物発見
- ・小さな草花発見

②大豆を育てよう

- ・栽培活動
- ・大豆からできるもの → 調べ、作る

③季節を感じよう

- ・その季節らしいものをみつける
- ・家庭とも連携して、季節の食べ物にふれる

3 流れ（指導計画の概略）

- | | | |
|--------|-------------|-------------------|
| 4・5月 | ①春を探しにでかけよう | ②大豆を育てる準備を始めよう |
| 6・7・8月 | ①夏を探しにでかけよう | ②笹餅をつくろう ③大豆のお世話 |
| 9・10月 | ①秋を探しにでかけよう | ②秋のはっぴの絵手紙かこう ③大豆 |
| 11月 | ①大豆を収穫 | ②大豆でできるもの（調べ） |
| 12・1月 | ①冬を探しにでかけよう | ②きなこをつくろう |
| 2・3月 | ①活動をふりかえろう | |

4 効果、反応、所感

- 身近なものを見つめ直すことで、知っているようで知らないことが再発見でき、図鑑等に出てくるものが身近に存在することがわかった。
- 自分たちの「食べる」にも目を向けることができ、買ってくるから作れるへ意識が向き始め、すべての食事に感謝し、おいしく食べる意識につながった。
- 近年、季節感が失われつつあるが、虫や花、天気の様子などに目を向けることで、子どもたちが身近な季節を発見・感動し、さらに関心を広げようとする姿が出てきた。
- もっとこうしてみたい、家でも調べてみた、興味関心のひろがり、学習のつながりが生まれ始めたように感じた。

5 指導方法・体制の工夫（協力者や資源）

- ・すべてを子どもたちからの発信ではなく、さわりの部分を教師が紹介していくところも大事に進めた。
- ・できるだけ外へ出るように心がけた。